

# 土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名 藤井川 高潮対策事業に伴う業務委託

事業名 または 工事名 藤井川 高潮対策事業に伴う業務委託

調査目的及び調査対象 河川 護岸

ボーリング名	No. R3	調査位置	広島県福山市高西町川尻	北緯	34° 26' 17.3163"
発注機関	広島県東部建設事務所	調査期間	2022年 11月 10日 ~ 2022年 11月 21日	東経	133° 14' 29.7339"
調査業者名		主任技師		現代代理人	
孔口標高	T. P. 4.56m	角	180° 上下 90° 0°	方位	北 0° 西 270° 東 90° 南 180°
総削孔長	27.00m	地盤勾配	水平0° 鉛直90°	使用機種	東邦地下工機 D1-B48
		試験機	ヤンマー NFD-12	ポンプ	東邦地下工機 BG-3C

標高 (m)	深度 (m)	現場土質名 (模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	記号	標準貫入試験					試料採取	室内位置試験	削孔月日	
										深	100mmごとの打撃回数	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量				
4.46	0.10	アスファルト	盛土・礫混じり砂	(SCs-G)	黒	rd2		現世	φ70mm以下の角礫にて採取。 礫分はφ15mm程度以下を主体とする。0.5mまでは大径のものが多く、最大は長径11cmに達す。砂分は細中砂が優勢し、所々に層状に粗中砂を挟む。貫入試料の含水は低く、乾燥状態にある。当区間掘削時に孔内水位は認めない。	1.15	2	1	2	5	300	R3-P1	土粒子密度・含水比・粒度	
1.06	3.50	盛土・礫混じり砂	盛土・礫混じり砂	(SCs-G)	褐	rd2		現世	細礫を豊富に、中礫を少量含んだ粗中砂。4mの貫入試料はわずかに湿っている。5mの貫入試料は高含水である。	1.45	3	2	2	7	300	R3-S1	土粒子密度・含水比・粒度・液性限界・塑性限界・三軸CB	
-0.94	5.50	シルト混じり砂	シルト混じり砂	(SCs-G)	暗黄	rd1		現世	在来地盤とみられるが、境界は不明瞭。砂分は粗中砂主体、少量の細礫分を混入。かなり高含水である。	3.15	2	2	2	6	300	R3-P3	土粒子密度・含水比・粒度	
-1.99	6.55	礫混じり砂	礫混じり砂	(SCs-G)	暗灰	rd1		現世	全体にシルト混じりで、特に7mの貫入試料はシルト分が富む。砂分は粗中砂を主体とする。礫分は細礫が優勢し、大径のものは30mmに達す。7.5m以下、貝殻片を混入。高含水である。	4.15	3	3	3	9	300	R3-S4	土粒子密度・含水比・粒度・液性限界・塑性限界・三軸CB	11/10
-3.44	8.00	シルト質砂	シルト質砂	(SCs)	暗青灰	rd1		完新世	砂分は細砂主体、下方に少し粗粒化している。含水はやや高い。	5.15	2	2	2	6	300	R3-P5	土粒子密度・含水比・粒度	
-4.14	8.70	シルト	シルト	(CI)	暗灰	rc1		完新世	概ね均質であるが、不規則に細砂の小塊を含むことがある。生痕(サンドパイプ)とみられる。ごく少量の貝殻片と腐植物を混入する。試料の含水は中位である。	6.15	1	1	1	2	400	R3-S7	土粒子密度・含水比・粒度・液性限界・塑性限界・三軸CB	11/10
-7.29	11.85	砂混じりシルト	砂混じりシルト	(GS-Cs)	暗灰	rc1		完新世	下方に少し粗粒化する。カッターを刺した際に砂の感触を認める。試料を採り出すと微量の砂粒が残る。高含水。最下部5cmは礫混じりである。	7.15	0	モンケン	自沈	0	550	R3-S7	土粒子密度・含水比・粒度	11/10
-10.39	14.95	砂	砂	(GS-Cs)	淡灰	rd3		更新世	礫分はφ30mm以下で、細礫～中礫が卓越する。少し角の取れた亜角礫が多い。マトリクスは粗砂からなり、細粒分はあまり含まない。細粒分に乏しいが、円形コアをなす。含水は中位である。	8.15	1	1	1	2	400	R3-P8	土粒子密度・含水比・粒度	11/10
-10.64	15.20	礫混じりシルト質砂	礫混じりシルト質砂	(GS-Cs)	暗青灰			更新世	φ30mm以下の角礫を含有。本質的には砂層の一部である。	9.15	1	1	1	2	400	R3-P9	土粒子密度・含水比・粒度	11/10
-12.19	16.75	砂	砂	(GS-Cs)	淡灰	rd3		更新世	16mの貫入試料は礫特大で礫量も多い。礫打ちによる過大値の可能性が高い。礫分は30mm以下で、細礫～中礫が多い。マトリクスはわずかの細粒分を伴った粗中砂。高含水。16.8～16.9m間、不定形に粘土を混入する。	10.15	0	モンケン	自沈	0	550	R3-T10	土粒子密度・含水比・粒度・液性限界・塑性限界・三軸CB	11/10
-12.44	17.00	粘土	粘土	(SCsG)	淡青灰			更新世	均質な粘土の薄層。少し固く、指で強く押ししても数mmしかへこまない。	11.15	2	8	16	26	300	R3-P16	土粒子密度・含水比・粒度	11/14
-13.34	17.90	礫混じり砂	礫混じり砂	(GS-Cs)	淡灰	rd3		更新世	粒度変化に富む。細中砂が優勢だが、不規則に細礫～中礫混じりの粗砂を挟む。	12.15	1	1	1	2	400	R3-P17	土粒子密度・含水比・粒度	11/14
-17.14	21.70	砂	砂	(GS-Cs)	淡灰	rd4		更新世	灰色の色調が強い砂礫である。礫分はφ40mm以下で、中礫～粗礫が多い。大径のものであってもコア形状をなすことはない。礫形は亜角礫からなり、円礫はほとんど認めない。マトリクスは粗砂が主体をなし、微量の細粒分を伴っている。含水は中位である。	13.15	8	10	7	25	300	R3-P13	土粒子密度・含水比・粒度	11/15
-19.44	24.00	玉石混じり砂	玉石混じり砂	(GS-Cs)	灰褐	rd4		更新世	褐色を帯びた砂礫である。玉石分は1～6cmから連続長10cmで採取される。その他の礫分はφ30mm程度以下である。中礫が優勢している。マトリクスは粒度分布の良い砂とシルトの混合物からなる。上位の砂礫よりは細粒である。含水はやや高い。	14.15	9	9	7	25	300	R3-P13	土粒子密度・含水比・粒度	11/15
-19.44	24.00	シルト混じり砂	シルト混じり砂	(GS-Cs)	褐	rd5		更新世	褐色の色調がさらに強まる。礫分は細礫が最も多く、次いで小径の中礫	15.15	7	7	7	21	300	R3-P13	土粒子密度・含水比・粒度	11/15
										16.15	21	16	13	50	300	R3-P16	土粒子密度・含水比・粒度	11/14
										17.15	2	8	16	26	300	R3-P17	土粒子密度・含水比・粒度	11/14
										18.15	15	15	15	45	300	R3-P17	土粒子密度・含水比・粒度	11/14
										19.15	15	17	18	50	300	R3-P17	土粒子密度・含水比・粒度	11/14
										20.15	14	13	10	37	300	R3-P20	土粒子密度・含水比・粒度	11/15
										21.15	21	16	13	50	300	R3-P20	土粒子密度・含水比・粒度	11/15
										22.15	22	20	8	50	240	R3-P20	土粒子密度・含水比・粒度	11/15
										23.15	12	13	20	45	300	R3-P20	土粒子密度・含水比・粒度	11/15
										24.15	34	16	10	50	140	R3-P20	土粒子密度・含水比・粒度	11/15
										24.29						R3-P20	土粒子密度・含水比・粒度	11/16

